

鹿児島大学

保健管理センター年報

第 46 号

(令和 6 年度)

鹿児島大学保健管理センター

目 次

はじめに.....	1
-----------	---

本年度の活動

I. 本年度の動向と活動の特色.....	2
----------------------	---

II. 教育・調査・研究

(1) 講義・講演・学会・論文・地域貢献.....	3
---------------------------	---

(2) 調査報告.....	5
---------------	---

III. 安全点検／産業保健活動.....	8
-----------------------	---

業務報告

IV. 保健管理センターの利用状況.....	9
------------------------	---

V. 定期健康診断など.....	11
------------------	----

保健管理センターについて

VI. 保健管理センターの沿革.....	16
----------------------	----

VII. 学校保健計画及び学校安全計画.....	18
--------------------------	----

VIII. 保健管理体制

(1) 保健管理センター職員.....	20
---------------------	----

(2) 保健管理センター運営委員会委員.....	21
--------------------------	----

あとがき.....	22
-----------	----

鹿児島大学保健管理センター規則（一部抜粋）

（目的）

センターは学生及び職員の心身の健康保持その増進を図ることを目的とする

（業務）

センターは前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う

- (1) 保健管理に関する実施計画の立案
- (2) 定期及び臨時の健康診断
- (3) 健康診断の事後指導
- (4) 健康相談及び指導
- (5) 精神衛生の相談及び助言
- (6) 環境衛生及び伝染病の予防に関する指導及び助言
- (7) 保健管理に関する調査研究
- (8) その他保健管理に関すること

は じ め に

鹿児島大学保健管理センター
所 長 川池 陽一

みなさま、令和6年4月より当センターの所長・教授を勤めさせていただいております川池陽一です。今回は初めてこの巻頭言を書かせていただきます。この令和6年度は当センターにとって大きな節目となりました。まず前年度3月末で伊地知信二前所長・現名誉教授がご退任されました。伊地知先生は平成23年度より13年間の長きにわたって所長を勤められました。私が准教授として就任したのが翌平成24年ですので、12年間先生の大黒柱として八面六臂のご活躍をされる姿をみさせていただき、その偉大さを常日頃より感じておりました。それだけに先生の後釜を私が勤めることや、所長・教授としての責任の重さにプレッシャーと不安などに押しつぶされそうになる日々ですが、一方でセンター内の同僚をはじめ、関係する皆様に支えられ、何とか一年が過ぎることができました。私にとっては「苦しい時ほど人の温かさを知る機会になる」ということを教えられた一年でもありました、関係した皆様にまず御礼申し上げます。特に4月から医師が1名欠員となり、大変な状況の折にお力添えをいただきました、中村雅之教授はじめ精神科医局員の皆様、前助教で学医の鮫島久美先生にはこの場を借りて改めまして御礼申し上げます。

また所長の交代に限らず、多くの新しいメンバーに加わって頂きました。医師は6月まで1名不在の状態でしたが、7月より小牧祐雅准教授が就任されました。先生は消化器内科医としての技量経験はもちろんですが、産業医の経験も豊富で、即戦力として活躍してくださっています。また看護部門は4月から磯脇和代看護師と本田夏奈子保健師が、1月からは中村杏奈保健師が就任され、事務部門は4月から上赤佳代さん、9月からは玉利千鶴さんが就任され、みなさん経験豊富で、早速持ち味を発揮されていて、これまでのメンバーと協力し合って、皆で保健管理センターを盛り上げていっております。

このようにこの令和6年度という年は多くのご縁を頂く一年となりましたが、ありがたいことに、このようにみなさんすぐ馴染み、積極的に意欲的に勤務していただいています。これも伊地知先生はじめ、歴代の所長、職員の皆様の作り上げた伝統の賜物と思います。そのような当センターのよき伝統をこれからも引き継ぎつつ、さらに発展させるべく、尽力を尽くす所存ですので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

(川池記)

I. 本年度の動向と活動の特色

(1) 心の健康相談・支援業務

心理相談・支援業務は、年々多様化、複雑化しており、最近では従来の集計法では実態を反映することが困難になってきている。そのため、従来の集計表による別表（P8 表 1）とは別に、令和 5 年度に関しては異なる方法を用いた集計も行った。具体的には、心の健康相談初診前の問診の件数を含めている、同一日に同一利用者に複数の支援・相談を行った場合は延べ件数として算出している、匿名のケースの件数も含めているなどの点で異なっている。これにより具体的な支援の件数も反映され、より実態に近い数値が算出されているため、令和 5 年度実績として以下に記す。

相談・支援合計	3240 件（職員・学生含む）
内訳	心の健康相談面接 648 件、電話相談面接・対応 607 件、メール相談・対応 663 件、居場所提供 740 件、他機関など紹介・案内 53 件、その他（問診、紹介状作成、修学・履修・就活・生活支援など）158 件

(2) 学生定期健康診断など

2024 年度（令和 6 年度）の学生定期健康診断は、新入生の胸部 X 線検査を 5 日間（4 月 15 日から 19 日）、Web 問診で対面診察や血液検査が必要と判断された学生の対面診察を 4 日間（4 月 22 日から 25 日）行った。新型コロナウイルス感染症対策として令和 2 年度より男女を別会場に設定していたが、5 類感染症に移行したことをうけ、今年度は男女ともに保健管理センターにて行った。胸部 X 線検査日程に合わせて、歯学部による歯科検診も農・獣医共通棟にて行われた。別日の留学生健診は、4 月 26 日の午前に結核のスクリーニング採血（T-スポット）と胸部 X 線検査を実施した。今年度の Web 問診にはビンジ飲酒の頻度と学生生活への影響に関する質問を追加し、今後九州地区大学保健管理研究協議会等で公表していく予定である。秋健診は 10 月 22 日、23 日、29 日の 3 日間行った（胸部 X 線検査）。

(3) 保健管理センター企画室会議および保健管理センター運営委員会

第 1 回企画室会議および運営委員会（2024 年 7 月メール会議）で、令和 6 年度学生定期健康診断の内容と、令和 5 年度学生の保健管理に関する自己点検・評価について審議・了承された。第 2 回企画室会議および運営委員会（2025 年 3 月メール会議）では次年度の学校保健計画および学校安全計画が了承された。また、保健管理センター医師の兼業状況についても審議・了承された。

Ⅱ．教育・調査・研究

(1) 講義・講演・学会・論文・地域貢献

(講義)

- ・ 川池陽一.「臨床精神医学特論」臨床心理学研究科（後期）
- ・ 佐久間真友子.「健康管理」共通教育（後期）

(AED 講習会)

- ・ 佐久間真友子. 介護等体験事前指導 ※オンデマンド（2024 年 7 月）

(講演・シンポジウムなど)

- ・ 川池陽一.「大学生に多い睡+眠リズムのトラブルと快適な睡眠のコツ」農学部・獣医学部ヘルスケア講演会（2024 年 10 月 28 日）

(学会)

- ・ 前田将久, 田中啓仁, 小牧祐雅, 上村修司, 井戸章雄. 「小児クローン病における便中カルプロテクチンと Lewis スコアの相関: カプセル内視鏡検査の適応判断に向けて」 第 118 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会（シンポジウム）（2024 年 11 月 15-16 日）

(論文)

- ・ Suzuki S, Tominaga N, Aoki T, Sadashima E, Miike T, Kawakami H, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Sato Y, Kishino T, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Hikichi T, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Kaise M, Nagata N. Association of blood group O with a recurrent risk for acute lower gastrointestinal bleeding from a multicenter cohort study. Sci Rep. 2024 Jun 17;14(1):13983. doi: 10.1038/s41598-024-64476-9. (Open Access: <https://doi: 10.1038/s41598-024-64476-9>)
- ・ Miyatani Y, Komaki Y, Komaki F, Micic D, Keyashian K, Sakuraba A. Factors associated with long-term clinical outcome in microscopic colitis. Ann Med. 2024 Dec;56(1):2365989. doi: 10.1080/07853890.2024.2365989. (Open Access: <https://doi: 10.1080/07853890.2024.2365989>)
- ・ Kinjo K, Aoki T, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Sato Y, Kishino T, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Hikichi T, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Watanabe K, Hisabe T, Yao K, Kaise M, Nagata N. Validation of British Society of Gastroenterology guidelines for acute lower gastrointestinal bleeding from 8,956 cases in Japan. Gastrointest Endosc. 2025

Jun;101(6):1131-1144.e10. doi: 10.1016/j.gie.2024.11.020.

- Narimatsu K, Ishii N, Yamada A, Aoki T, Kobayashi K, Yamauchi A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Sato Y, Kishino T, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Hikichi T, Toya Y, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Hokari R, Kaise M, Nagata N. Impact of long-term trends on outcomes in the management of colonic diverticular bleeding: mediation analyses in a large multicenter study. J Gastroenterol. 2025 Feb;60(2):174-186. doi: 10.1007/s00535-024-02178-9.
- Ijichi S, Ijichi N, Sakuma M, Yokoyama D, Hayashi T, Hirota T, King BH. Overlap of genetic factors among craniosynostosis and autism spectrum disorder: the presence of autistic cases without craniosynostosis in carriers of shared variants. J Neurosurg Pediatr. 2025 Mar 28:1-10. doi: 10.3171/2024.12.PEDS24296. (Open Access: <https://doi.org/10.3171/2024.12.PEDS24296>)
- 川池陽一. 「大学生のメンタルヘルスについて～実存的空虚感～」 鹿児島県医師会報 2 (884) 5-6、2025 年 2 月

(地域貢献)

- 川池陽一. 鹿児島県精神科病院実地審査委員、医療観察法精神保健審判員、医療観察法病棟倫理委員会議員、鹿児島県職員健康相談員
- 小牧祐雅. 鹿児島県指定難病審査会委員

(2) 調査報告① 2024 年度 学生結核スクリーニング採血検査について

<実施方法>

- ・2024 年度学生定期健康診断（Web 問診）時と留学生健康診断（チェックリスト問診）時、受診者全員に対して以下のアンケートを実施

Q1. 最近 1 年間で、結核の高蔓延地域にトータルで 1 ヶ月以上居住・滞在したことがありますか？

Q2. Yes の方は、採血検査を受けるべきですが、受けますか？

- ・Yes と回答した学生に対し結核スクリーニング採血（商品名 T-spot）を無料で実施

<結 果>

結核スクリーニング検査（T-spot）

	陽性	判定保留	陰性	合計(名)
留学生	2	0	23	25
留学生以外	0	0	1	1
合計(名)	2	0	24	26

- ・陽性者 2 名

A 氏：胸部 X 線検査でも異常陰影あり、結核専門医病院へ紹介し陳旧性肺結核の診断で経過観察

B 氏：病院紹介し経過観察

2024 年度 外国人留学生出身国(地域) 別人数

■結核高蔓延国等出身者 339 名 (92%)

アジア地域	中国	178	320	中近東地域	イラン	1	5
	韓国	54			トルコ	4	
	台湾	3		アフリカ地域	エジプト	1	15
	ベトナム	16			エチオピア	2	
	マレーシア	11			ケニア	1	
	ミャンマー	2			タンザニア	3	
	フィリピン	3			南スーダン	1	
	インドネシア	12			ソマリア	1	
	タイ	6			シエラレオネ	2	
	カンボジア	6			マラウイ	2	
	インド	2			ジンバブエ	1	
	ネパール	2			カメルーン	1	
	スリランカ	6		北米地域	アメリカ合衆国	2	2
	パキスタン	3		南米地域	ブラジル	2	6
	バングラデシュ	16			ペルー	3	
ヨーロッパ地域	スペイン	2	15	大洋州地域	セントルシア	1	5
	ドイツ	4			オーストラリア	2	
	フランス	5			フィジー	1	
	ノルウェー	2			ソロモン諸島	2	
	オーストリア	1		合計	368		
	イギリス	1		参考資料:2024 年度鹿児島大学概要より			

調査報告② 2024 年度 化学薬品使用学生の採血結果について

<実施方法>

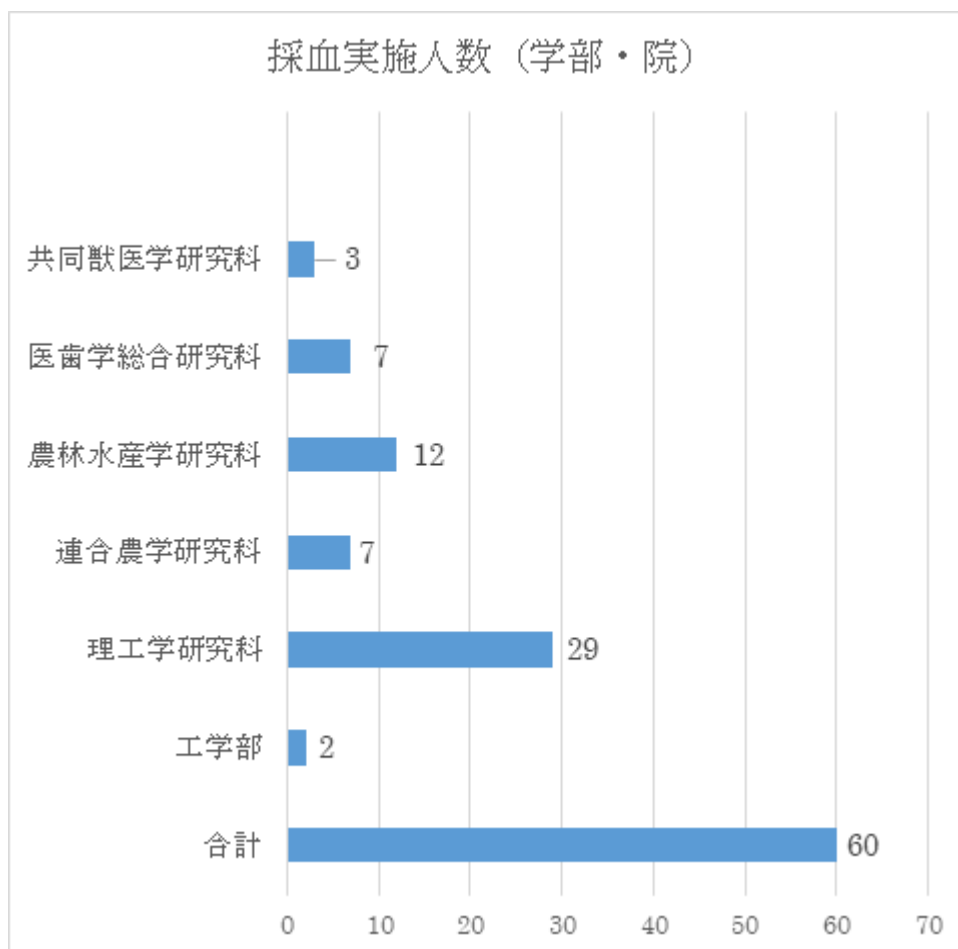
- ・2024 年度学生定期健康診断（Web 問診）時に受診者全員（学部新入生は除く）に対し、以下アンケートを実施
Q1. 実習や実験で、有害な化学薬品を扱う予定がありますか？または扱っていますか？
Q2. Yes の方は、採血検査を受けるべきですが、受けますか？
- ・Yes と回答した学生に対し無料で実施
（検査項目：肝機能検査、中性脂肪、コリンエステラーゼ、尿素窒素、尿酸、末梢血）

<結 果>

- ・採 血 者： 60 名 （男性 43 名、女性 17 名）
- ・要精密検査者： 3 名

<事後措置>

- ・化学薬品暴露における被害：0 名
- ・肝機能異常者 1 名については外部医療機関紹介、2 名は医師による生活・食事指導を実施



調査報告③ 喫煙率の変遷

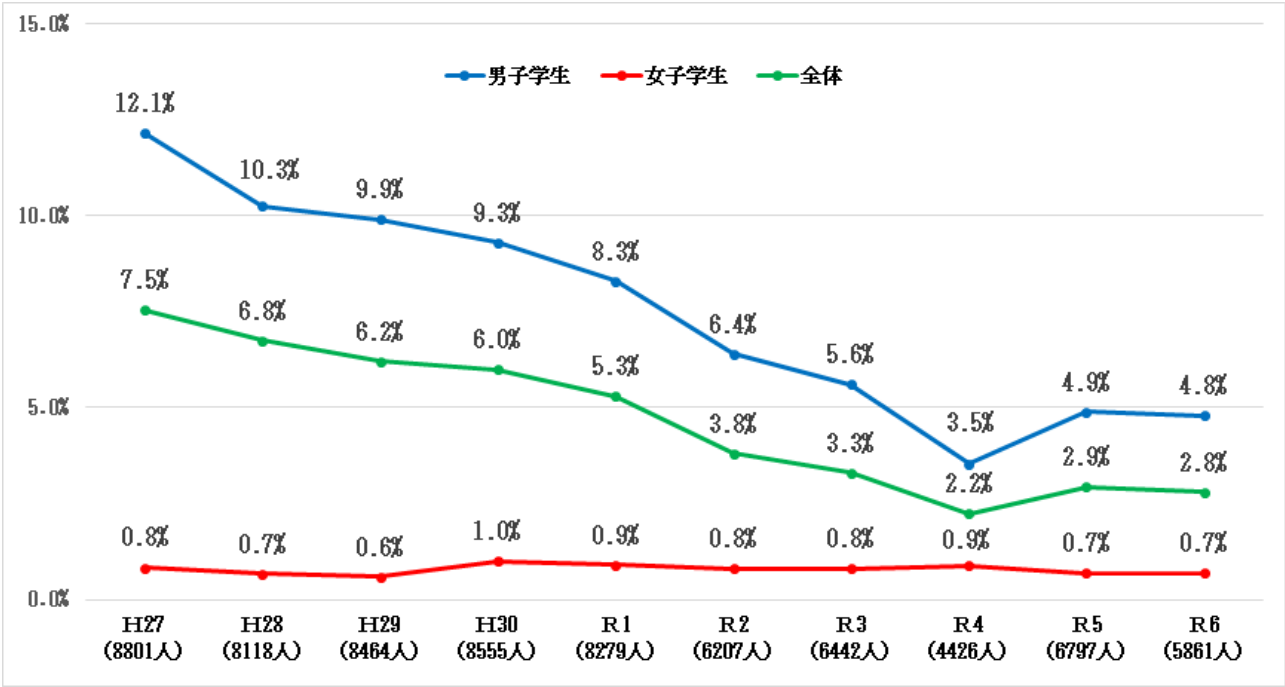


図1 学生の喫煙率

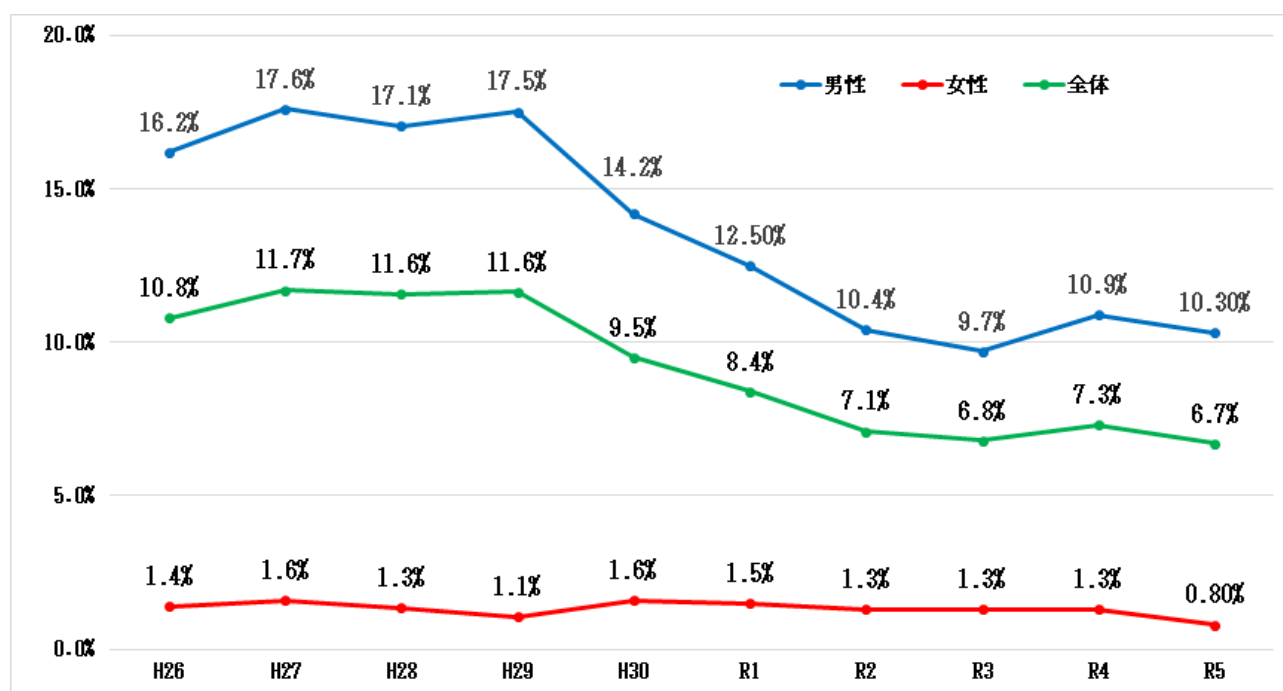


図2 職員の喫煙率

Ⅲ. 安全点検／産業保健活動

学校保健安全法に基づく安全点検および労働安全衛生法に基づく臨時職場巡視の報告書
(定期の職場巡視に関しては含まれない)

点検日時	2025 年 2 月
点検者	安全衛生担当者, 佐久間 (産業医), 中村聡子 (保健師)
撮影場所	農場通用門付近
指摘事項	本学は敷地内に加え, 大学周辺の禁煙の他, 休み時間を含む就業時間内および就学時間内も禁煙であるが, 相変わらず規則違反が続いている。背景に認識不足も多く, 今後も継続的な啓発活動が必要である。

画像資料



毎月排水溝内に多くの吸い殻が捨てられている。

IV. 保健管理センターの利用状況

表 1 a 保健管理センター利用状況（全学生）

項 目	年 度	R1	R2	R3	R4	R5
感 染 症		145 (140)	38 (37)	26 (25)	5 (5)	40 (36)
新 生 物		1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
血 液 疾 患		2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	2 (1)
内 分 泌、栄 養 お よ び 代 謝 疾 患		17 (17)	13 (12)	6 (6)	4 (4)	5 (4)
精 神 障 害		685 (13)	242 (7)	147 (11)	18 (8)	38 (10)
神 経・感 覚 器 系 の 疾 患		54 (52)	13 (13)	6 (6)	2 (2)	14 (14)
循 環 器 系 の 疾 患		11 (10)	4 (3)	2 (2)	3 (3)	5 (5)
呼 吸 器 系 の 疾 患		868 (798)	61 (55)	22 (18)	1 (1)	99 (88)
消 化 器 系 の 疾 患		36 (35)	15 (15)	12 (11)	9 (9)	16 (15)
皮 膚・皮 下 組 織 の 疾 患		54 (51)	21 (20)	18 (17)	13 (12)	13 (13)
筋 骨 格 系 の 疾 患		47 (44)	22 (20)	12 (12)	11 (11)	11 (9)
尿 路 性 器 系 の 疾 患		29 (28)	7 (7)	12 (9)	12 (11)	7 (6)
先 天 奇 形		1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
症 状・診 断 不 明 確		94 (88)	38 (32)	41 (41)	30 (28)	28 (26)
損 傷・中 毒		360 (197)	73 (60)	59 (46)	89 (74)	92 (74)
傷 病 お よ び 死 亡 の 外 因		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
保 健 サ ー ビ ス の 利 用		214 (123)	731 (283)	2501 (776)	2804 (2396)	775 (761)
心 理 相 談		1618 (126)	1198 (112)	1663 (140)	1714 (127)	1377 (98)
小 計		4,236 (1,726)	2,479 (679)	4,527 (1,120)	4,718 (2,693)	2,524 (1,161)
健 康 診 断 (電 離 放 射 線)		426	415	464	526	439
健 康 診 断 (一 般)		130	89	45	48	60
健 康 診 断 (臨 時)		56	0	0	0	5
定 健 後 の 精 検		16	10	10	8	8
ス ク リ ー ニ ン グ 検 診 (結 核)		123	27	11	49	26
ス ク リ ー ニ ン グ 検 診 (化 学 薬 品)		402	165	101	86	60
A E D 講 習 会		67	55	4 ※1	0 ※1	38 ※1
ア ル コ ー ル パ ッ チ テ ス ト		5	0	0	0	0
小 計		1,225	761	635	717	636
診 断 書 発 行 (保 健 管 理 セ ン タ ー に 来 所)		132	57	141	82	133
(自 動 発 行 機)		3,558	2,309	1,916	1,256	1,624
(ネ ッ ト 発 行)		1,234	1,608	1,501	956	1,101
合 計		10,385	7,214	8,720	7,729	6,018

() 内は新規利用者

*スクリーニング検診はH28年度より開始

*診断書発行に関しては発行枚数

※1 R3～R5年度の介護等体験事前指導時のAED講習(オンライン)の人数は把握できなかったため含まれていない

表 1 b 保健管理センター利用状況（職員）

項 目	年 度	R1	R2	R3	R4	R5
感 染 症		15 (14)	4 (4)	3 (2)	6 (5)	10 (9)
新 生 物		2 (2)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)
血 液 疾 患		2 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
内 分 泌、栄 養 お よ び 代 謝 疾 患		1 (0)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
精 神 障 害		52 (7)	49 (8)	51 (3)	53 (13)	30 (7)
神 経・感 覚 器 系 の 疾 患		12 (10)	3 (3)	4 (3)	10 (4)	12 (10)
循 環 器 系 の 疾 患		7 (7)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	1 (1)
呼 吸 器 系 の 疾 患		101 (82)	34 (14)	8 (7)	3 (2)	39 (30)
消 化 器 系 の 疾 患		7 (5)	4 (4)	2 (2)	4 (3)	2 (1)
皮 膚・皮 下 組 織 の 疾 患		5 (5)	9 (7)	6 (5)	5 (5)	2 (2)
筋 骨 格 系 の 疾 患		11 (10)	13 (13)	10 (7)	6 (6)	6 (6)
尿 路 性 器 系 の 疾 患		4 (4)	5 (5)	4 (4)	2 (2)	2 (2)
先 天 奇 形		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
症 状・診 断 不 明 確		19 (17)	6 (6)	14 (11)	11 (9)	12 (12)
損 傷・中 毒		44 (29)	38 (29)	26 (19)	24 (23)	18 (18)
保 健 サ ー ビ ス の 利 用		117 (51)	66 (39)	64 (41)	36 (25)	73 (41)
心 理 相 談		33 (8)	32 (11)	56 (10)	25 (5)	55 (6)
小 計		432 (252)	271 (151)	254 (119)	189 (106)	262 (145)
健 康 診 断 (定 期 健 康 診 断 + 人 間 ド ッ ク)		1,397	1,355	1,309	1,340	1,318
特 定 業 務 (有 機 溶 剤)		91	73	79	83	96
特 定 業 務 (特 定 化 学 物 質)		65	54	58	69	68
特 定 業 務 (有 機 ソ ル)		39	38	32	35	36
特 定 業 務 (電 離 放 射 線)		207	211	202	203	202
特 定 業 務 (振 動 工 具)		25	87	79	78	81
特 定 業 務 (情 報 機 器)		1	2	4	4	1
特 定 業 務 (高 気 圧 業 務)			8	6	6	10
健 康 診 断 (一 般)		16	12	2	10	14
職 員 健 診 の 事 後 措 置		99	127	108	121	107
ス ト レ ス チ ェ ッ ク 面 接 実 施 者		6	9	8	6	9
A E D 講 習 会		6	0	0	0	0
小 計		1,952	1,976	1,887	1,955	1,942
合 計		2,384	2,247	2,141	2,144	2,204

() 内は新規利用者

表 1 c 2023 年度 桜ヶ丘分室利用状況（学生）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 容	内科													0
	外科		2	1	1	1			3	1				9
	心理相談										1			1
	精神科相談													0
	健康相談(入力数に含まない相談)		1		1			1						3
	禁煙相談													0
	休養室利用					1	1	2	1	1	2	1		9
	健康診断証明書			2										2
	測定のみ等(体温計など)			1				3			1			5
	病院内		1	1		1		1		1	1			6
件数		0	4	5	2	3	1	7	4	3	5	1	0	35

定健精密
採血結果 受取

2 1

※マスクをもらいに来た人や、カットパンをもらいに来た人は【測定のみ等】に含む。H26.10.21～

表 1 d 2023 年度 桜ヶ丘分室利用状況（教職員）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 容	内科													0
	外科												1	1
	心理相談													0
	精神科相談													0
	健康相談			1										1
	禁煙相談													0
	休養室利用			1										1
	測定のみ(体温計など)						1	1	1					3
	病院内													0
	件数	0	0	2	0	0	1	1	1	0	0	0	1	6

表 2 2023 年度 特別・一般および臨時健康診断等（学生）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
特別	電 離 放 射 線 取 扱 者		222						156	61				439
一般	小 型 船 舶 免 許 申 請				3	6								9
	就 職 等			3	1	26	1	3	4	4	3	6		51
臨時	ス ポ ー ツ 大 会 前 健 診			5										5
	獣医師国試免許申請											3		3
	歯科医師国試免許申請													0
	医師国試免許申請													0
	保健学科国試免許申請 (看護・保健・理学・作業)													0
	助産師国試免許申請													0
合 計		0	222	8	4	32	1	3	160	65	3	9	0	507

V. 定期健康診断など

はじめに

学校保健安全法施行規則は、大学における結核健診の時期を第一学年としているため、定期健康診断で実施する胸部 X 線撮影については、新入生以外は法的な必須検査ではない。鹿児島大学では、2016 年度から新入生の実施し、検査結果の読影は外部委託のみとした。また、同年度より検尿は中止となった。2020 年度から、新型コロナウイルスの流行をきっかけとして、web 問診を導入した。対面の内科診察は 2022 年度からは全学年の有所見者のみに行っている。歯科健診は、本学歯学部によって 2011 年度より行われている。定期健康診断時に行われる採血検査については調査報告（P4、P5）に記載する。秋健診については表 5 にまとめる。

表 1a 定期健康診断受診率（学部学生）

	2020	2021	2022	2023	2024
検診対象者	8726	8656	8571	8574	8598
受診者	5319	5416	3763	5858	5064
受診率(%)	61.0	62.6	43.9	68.3	58.9
法文学部	60.3 (1093/1812)	60.1 (1078/1795)	39.0 (694/1781)	68.0 (1219/1793)	56.5 (1020/1805)
教育学部	91.3 (832/911)	82.9 (730/881)	80.7 (684/848)	92.2 (782/848)	94.4 (793/840)
理学部	57.7 (459/796)	59.7 (485/813)	45.9 (367/800)	64.0 (518/809)	56.0 (453/809)
医学部	77.9 (924/1186)	83.0 (990/1193)	49.7 (587/1182)	77.7 (925/1191)	71.6 (865/1208)
歯学部	63.9 (204/319)	76.3 (241/316)	41.9 (131/313)	81.5 (260/319)	66.6 (207/311)
工学部	44.3 (881/1987)	47.5 (930/1957)	33.1 (643/1943)	56.5 (1086/1922)	41.9 (811/1936)
農学部	55.8 (509/912)	57.4 (522/909)	40.1 (362/902)	61.0 (545/893)	53.0 (457/863)
水産学部	48.9 (300/614)	45.7 (277/606)	32.6 (200/613)	59.8 (365/610)	49.3 (301/610)
共同獣医学部	61.9 (117/189)	78.0 (145/186)	42.9 (81/189)	74.6 (141/189)	64.8 (140/216)

表 1b 定期健康診断受診率（大学院生等）

	2020	2021	2022	2023	2024
検診対象者	1531	1545	1559	1570	1574
受診者	903	950	672	941	784
受診率（％）	59.0	61.5	43.1	59.9	49.8
人文社会科学研究科	61.0 (50/82)	65.7 (44/67)	56.3 (36/64)	81.1 (60/74)	64.7 (55/85)
教育学研究科	72.2 (52/72)	69.4 (43/62)	66.7 (26/39)	72.7 (32/44)	78.6 (33/42)
保健学研究科	55.4 (41/74)	68.1 (49/72)	45.3 (34/75)	60.0 (48/80)	49.4 (38/77)
理工学研究科	73.8 (456/618)	77.2 (494/640)	50.8 (314/618)	74.6 (469/629)	57.7 (369/640)
農学研究科	50.0 (1/2)	— (0/0)	— (0/0)	— (0/0)	— (0/0)
水産学研究科	0.0 (0/1)	— (0/0)	— (0/0)	— (0/0)	— (0/0)
医歯学総合研究科	30.9 (106/343)	30.2 (102/338)	15.9 (54/339)	22.7 (75/330)	24.7 (81/328)
連合農学研究科	33.0 (36/109)	24.8 (26/105)	17.1 (18/105)	33.0 (33/100)	29.9 (32/107)
臨床心理学研究科	100.0 (30/30)	100.0 (31/31)	100.0 (32/32)	96.7 (29/30)	100.0 (32/32)
共同獣医学研究科	45.8 (11/24)	30.0 (9/30)	27.0 (10/37)	39.5 (15/38)	27.9 (12/43)
農林水産学研究科	68.2 (120/176)	76.0 (152/200)	59.2 (148/250)	73.1 (179/245)	60.0 (132/220)

表 2a 理学的所見による要精検者（学部学生）

		2020	2021	2022	2023	2024
一次検診	検診対象者	8726	8656	8571	8574	8598
	受診者	5319	5416	3763	5858	5064
	受診率（％）	61.0	62.6	43.9	68.3	58.9
精密検診	精検対象者	8	457	229	471	357
	受診者	8	7	4	5	6
	受診率（％）	100.0	1.5	1.7	1.1	1.7
一次検診 確定診断	要観察者	14	17	18	12	22
	要医療者	31	42	52	41	58
精検後 確定診断	要観察者	0	0	2	0	1
	要医療者	2	0	2	1	0

2021 年度より、精密対象者の欄に対面診察必要者数が入ったため、精密検査受診率が比較できなくなっている。

表 2b 理学的所見による要精検者（大学院生等）

		2020	2021	2022	2023	2024
一次検診	検診対象者	1531	1545	1559	1570	1574
	受診者	903	950	672	941	784
	受診率（％）	59.0	61.5	43.1	59.9	49.8
精密検診	精検対象者	2	83	48	70	49
	受診者	2	3	4	3	2
	受診率（％）	100.0	3.6	8.3	4.3	4.1
一次検診 確定診断	要観察者	3	3	4	2	10
	要医療者	11	7	17	7	14
精検後 確定診断	要観察者	1	0	1	1	1
	要医療者	0	0	0	0	1

2021 年度より、精密対象者の欄に対面診察必要者数が入ったため、精密検査受診率が比較できなくなっている。

表 2c 理学的所見による要精検者のまとめ

診断名	要観察者		要医療者	
	学部学生	大学院生	学部学生	大学院生
毛のう炎			1	
糖尿病				1
計	0	0	1	1

表 3a 胸部 X 線検査による要精検者（学部学生）

		2020	2021	2022	2023	2024
一次検診	検診対象者	8726	8656	8571	8574	8598
	受診者	1494	1690	1768	1886	1834
	受診率(%)	17.1	19.5	20.6	22.0	21.3
精密検診	精検対象者	6	5	2	2	4
	受診者	6	4	2	2	4
	受診率(%)	100.0	80.0	100.0	100.0	100.0
一次検診 確定診断	要観察者	0	0	0	0	1
	要医療者	0	0	0	0	1
精検後 確定診断	要観察者	0	0	0	0	1
	要医療者	2	0	0	0	0

表 3b 胸部 X 線検査による要精検者（大学院生等）

		2020	2021	2022	2023	2024
一次検診	検診対象者	1531	1545	1559	1570	1574
	受診者	387	449	381	454	418
	受診率(%)	25.3	29.1	24.4	28.9	26.6
精密検診	精検対象者	2	3	2	0	1
	受診者	2	3	2	0	1
	受診率(%)	100.0	100.0	100.0	---	100.0
一次検診 確定診断	要観察者	0	0	0	0	1
	要医療者	1	0	0	0	0
精検後 確定診断	要観察者	1	0	0	0	1
	要医療者	0	0	0	0	0

表 3c 胸部 X 線検査による要精検者のまとめ

診断名	要観察者		要医療者	
	学部学生	大学院生	学部学生	大学院生
気胸	2		1	
陳旧性肺結核	1			
計	3	0	1	0

表 4a BMI 値（学部学生男子）

学年	BMI値	2020	2021	2022	2023	2024
1年生	30 以上	18	24	30	24	25
	15 以下	3	2	0	4	1
2年生	30 以上	6	8	4	14	10
	15 以下	0	1	1	1	1
3年生	30 以上	14	14	5	11	12
	15 以下	3	0	1	0	0
4年生	30 以上	14	12	11	15	11
	15 以下	1	3	1	2	0
5年生	30 以上	2	1	0	1	3
	15 以下	0	0	0	0	0
6年生	30 以上	1	3	1	3	2
	15 以下	0	1	0	0	0

表 4b BMI 値（学部学生女子）

学年	BMI値	2020	2021	2022	2023	2024
1年生	30 以上	3	10	6	4	8
	15 以下	0	0	3	1	1
2年生	30 以上	1	1	7	4	2
	15 以下	1	0	1	0	0
3年生	30 以上	4	2	1	11	5
	15 以下	0	0	0	0	2
4年生	30 以上	6	5	4	2	7
	15 以下	0	0	0	1	1
5年生	30 以上	0	0	0	0	0
	15 以下	0	0	0	0	0
6年生	30 以上	1	0	0	0	0
	15 以下	0	0	0	0	0

表 4c BMI 値（大学院生男子）

学年	BMI値	2020	2021	2022	2023	2024
1年生	30 以上	9	8	12	13	13
	15 以下	1	0	0	1	0
2年生	30 以上	9	6	5	8	4
	15 以下	0	0	0	1	0
3年生	30 以上	5	2	1	2	3
	15 以下	1	0	0	0	0

表 4d BMI 値（大学院生女子）

学年	BMI値	2020	2021	2022	2023	2024
1年生	30 以上	5	5	1	6	3
	15 以下	0	0	0	1	0
2年生	30 以上	0	2	3	0	1
	15 以下	0	0	0	0	1
3年生	30 以上	0	0	0	0	0
	15 以下	0	0	0	0	0

表 5 秋健診（10 月）：胸部 X 線検査のみ

		2020 ^{※2}	2021 ^{※2}	2022 ^{※2}	2023	2024
1 次検診	受診者	28	9	28	52	59
	免除者 ^{※1}	0	0	4	34	54
精密検診	精密対象者	0	0	0	0	1
	受診者	0	0	0	0	1 ^{※3}
最終診断	要観察者	0	0	0	0	—
	要医療者	0	0	0	0	—

※1 3 ヶ月以内に胸部 X 線検査を受けたことが証明できる学生、妊娠中の学生等

※2 4 月以降の入学者でコロナの影響により入国が遅れたものも含む

※3 2 次検診のため当センターより専門医紹介となったが受診されず、本人及び担当教員に再度受診促すも連絡が取れなかったため追跡できていない

VI. 保健管理センターの沿革

昭和 29 年		鹿児島大学保健診療所設置
昭和 40 年		鹿児島大学学生相談室設置
昭和 47 年	2 月	鹿児島大学保健管理センター設置準備懇談会発足，世話役 宮司祐三学生部長
昭和 47 年	5 月	国立学校設置法施行規則の改正（省令第 11 号）により，本学に保健管理センター設置 新規講師定員 1 名及び看護婦定員 1 名 保健管理センター所長事務取扱に宮司祐三学生部長（併任）就任
昭和 47 年	12 月	鹿児島大学保健管理センター規則，鹿児島大学保健管理センター所長及び教員選考規則制定
昭和 48 年	1 月	保健管理センター所長に医学部篠原慎治教授（併任）就任 医学部（神経精神医学）川池浩二助手，保健管理センター講師就任
昭和 50 年	5 月	診療所開設（厚生省認可）
昭和 51 年	3 月	保健管理センター新庁舎落成
昭和 51 年	9 月	新庁舎で業務開始
昭和 51 年	10 月	教授定員 1 名純増
昭和 52 年	1 月	医学部（神経精神医学）新里邦夫助教授，保健管理センター教授就任
昭和 52 年	6 月	川池浩二講師，附属病院へ配置替え
昭和 52 年	11 月	医学部（第二内科学）美坂幸治助手，保健管理センター講師就任
昭和 55 年	4 月	美坂幸治講師，教育学部教授に転出
昭和 55 年	11 月	医学部（第一内科学）前田芳夫助手，保健管理センター講師就任
昭和 56 年	1 月	保健管理センター所長に新里邦夫教授就任
昭和 57 年	4 月	前田芳夫講師，助教授就任
昭和 57 年	11 月	新里邦夫所長，保健管理センター所長退任，県立鹿児島保健院長に転出 保健管理センター所長事務取扱に岩熊三郎学生部長（併任）就任
昭和 58 年	1 月	医学部（神経精神医学）瀧川守国助教授，保健管理センター教授就任
昭和 58 年	6 月	保健管理センター所長に瀧川守国教授就任
平成 6 年	8 月	瀧川守国教授，保健管理センター所長退任，医学部（神経精神医学）教授に転出 保健管理センター所長に前田芳夫助教授就任
平成 6 年	9 月	前田芳夫助教授，教授就任
平成 6 年	11 月	医学部（神経精神医学）野間口光男助手，保健管理センター講師就任
平成 8 年	7 月	野間口光男講師，鹿児島県立始良病院医長に転出 医学部（神経精神医学）上山健一助教授，保健管理センター助教授就任
平成 9 年	10 月	第 35 回全国大学保健管理研究集会開催（於：鹿児島市民文化ホール）

平成 10 年	3 月	上山健一助教授，鹿児島県立始良病院院長に転出
平成 10 年	4 月	医学部（神経精神医学）森岡洋史講師，保健管理センター助教授就任
平成 15 年	3 月	前田芳夫教授，鹿児島大学教員定年規則により退官
平成 15 年	4 月	保健管理センター所長事務取扱に種村完司副学長（併任）就任
平成 15 年	6 月	森岡洋史助教授，保健管理センター教授ならびに所長（併任）就任
平成 15 年	10 月	医学部（第三内科学）榮樂信隆助手，保健管理センター助教授就任
平成 18 年	1 月	河村 裕医師，保健管理センター助手（産業医）就任
平成 18 年	3 月	榮樂信隆助教授退任
平成 18 年	4 月	鹿児島赤十字病院（内科）伊地知信二部長，保健管理センター助教授就任
平成 19 年	4 月	職名変更（助教授→准教授，助手→助教）
平成 19 年	8 月	九州地区大学保健管理研究協議会主催
平成 21 年	3 月	河村 裕助教退任
平成 21 年	11 月	鮫島久美医師，保健管理センター助教就任
平成 23 年	3 月	森岡洋史教授，保健管理センター所長退任
平成 23 年	4 月	伊地知信二准教授，教授・保健管理センター所長就任
	4 月	森岡洋史教授，特任教授就任
平成 24 年	4 月	医学部（神経科精神科）川池陽一助教，保健管理センター准教授就任
平成 25 年	7 月	障害学生支援室（平成 26 年 4 月からセンター）との連携開始
平成 26 年	3 月	増築改修工事開始
平成 27 年	1 月	増築改修工事終了
平成 27 年	12 月	ストレスチェック制度施行（労働安全衛生法改正）
平成 28 年	4 月	障害者差別解消法施行
平成 30 年	12 月	7 月の健康増進法改正を受け，総務省が本学の喫煙所が受動喫煙を起こすと公表（あっせん）
令和 2 年	1 月	敷地内全面禁煙化完全実施
令和 3 年	3 月	森岡洋史特任教授退任
令和 3 年	7 月	第 51 回九州地区大学保健管理研究協議会主催（オンデマンド）
令和 5 年	3 月	鮫島久美助教退任
令和 5 年	4 月	佐久間真友子助教就任
令和 6 年	3 月	伊地知信二教授（所長）退任
令和 6 年	4 月	川池陽一准教授、教授（所長）就任
令和 6 年	7 月	小牧祐雅准教授就任

VII. 2024 年度学校保健計画及び学校安全計画

(注) 一部4月以降に決まった変更を含む

	行 事	内 容	教育活動	安全点検
4	・入学式 ・学生定期健康診断(Web 問診) ・学生化学物質取扱者(有機溶剤取扱者)採血検査 ・学生結核の採血検査(IGRA) ・留学生定期健康診断特別日程	救護待機 4月3日～25日 問診(内科、身長体重、皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科) 胸部X線デジタル撮影(新入生のみ15日～19日) 対面診察(該当者のみ22日～25日) 4月22日～25日 4月22日～25日 4月26日	AED 講習 卒煙支援 禁煙講演 エンゲージメント講演	随時実施
5	・健康診断証明書発行開始(Web 発行) ・第1回電離放射線健康診断(学生・教職員) ・学生定期健康診断受診者への精密検査通知 ・健康診断証明書発行開始(自動発行機) ・体育系サークルの健康診断 ・学生定期健康診断の事後措置	問診、眼、皮膚、血液検査、 心電図、聴打診、血圧、検尿 要精密検査者に個別指示(胸部X線検査)		
6	・学生定期健康診断の事後措置 ・学生化学物質取扱者・結核の採血後の事後措置 ・就職試験用等健康診断開始 ・職員定期健康診断事後措置(附属小等) ・ストレスチェック(職員)	要精密検査者に個別指示 (内科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科) 要再検査者に個別指示		
7	・2025 年度 学生定期健康診断日程(案)計画 ・卒業生のカルテ整理・保管 ・第54回九州地区大学保健管理研究協議会 ・第1回保健管理センター運営委員会	日程調整 オンライン開催(当番:佐賀大学) 2025 年度 学生定期健康診断実施計画(案)		
8	・学生定期健康診断精密検査結果処理 ・職員一般定期健康診断 ・特定業務従事者健康診断(職員) ・有機溶剤取扱者健康診断(職員) ・特定化学物質取扱者健康診断(職員) ・有機リン剤取扱者健康診断(職員) ・高気圧業務従事者健康診断(職員) ・振動工具業務従事者健康診断(職員) ・歯科特殊健康診断(職員)			
9	・職員健康診断事後措置			

	行 事	内 容	教育活動	安全点 検
10	・10 月入学者健康診断 ・ストレスチェック事後措置(産業医面談等) ・第 62 回全国大学保健管理研究集会 ・2024 年度 一般社団法人国立大学保健管理施設協議会 ・総合型選抜入試	胸部X線デジタル撮影 10 月 16・17 日(当番:神戸大学) 10 月 18 日(当番:和歌山大学) 救護待機	AED 講習 卒煙支援 禁煙講演 エコノ講演	随時実施
11	・情報機器作業従事者健康診断(職員) ・第 2 回電離放射線健康診断(学生・教職員) ・学校推薦型選抜 I 入試	視力、問診等 問診、眼、皮膚、血液検査、 救護待機		
12	・センター利用者年間統計資料作成 ・総合型選抜入試等	救護待機		
1	・健康相談日年間計画表作成 ・大学入学共通テスト	2025 年度 学医及びカウンセラー 救護待機		
2	・前期日程個別学力検査 ・特定業務従事者健康診断(職員) ・有機溶剤取扱者健康診断(職員) ・特定化学物質取扱者健康診断(職員) ・有機リン剤取扱者健康診断(職員) ・高気圧業務従事者健康診断(職員) ・振動工具業務従事者健康診断(職員) ・歯科特殊健康診断(職員)	救護待機		
3	・職員健康診断事後措置 ・第 2 回保健管理センター運営委員会 ・棚卸 ・卒業生の診療カルテ整理・保管 ・後期日程個別学力検査 ・共同獣医学部国家資格免許申請のための健康診断 ・医歯学部国家資格免許申請のための健康診断 ・卒業式	2025 年度学校保健計画・学校安全計画(案) 救護待機 神経科精神科 神経科精神科, 内科 救護待機		

VIII. 保健管理体制

(1) 保健管理センター職員

(令和7年3月現在)

所長	教 授	川池陽一	(精神科)
産業医	准教授	小牧祐雅	(内科)
産業医	助 教	佐久間真友子	(内科)
保健師		中村聡子	
保健師		山口由佳	
保健師		蒲地亜紀代	
看護師		磯脇和代	
保健師		中村杏奈	
カウンセラー		永田純子	
カウンセラー (非常勤講師)		田沼利枝	
カウンセラー (非常勤講師)		入角千晶	
カウンセラー (非常勤講師)		石田 愛	
カウンセラー (特任コーディネーター)		山田優里香	
ソーシャルワーカー		黒瀬真弓	
事務補佐員		玉利千鶴	
事務補佐員		上赤佳代	

(2) 保健管理センター運営委員会委員

	学部等	職名	氏名	区分	任期	備考
1	保健管理センター	教授	川 池 陽 一	所 長	職 指 定	委員長 規則第2条第1項第1号
2	//	准教授	小 牧 祐 雅	専 任 教 員	//	規則第2条第1項第2号
3	//	助教	佐 久 間 真 友 子	//	//	//
4	鹿児島大学病院	助教	川 島 雅 樹	学医(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)	R0.6.4.1~R07.3.31	規則第2条第1項第3号
5	医歯学総合研究科	助教	上 宮 直 弘	学医(整形外科)		//
6	鹿児島大学病院	准教授	寺 崎 寛 人	学医(眼科)		//
7	医歯学総合研究科	助教	佐 々 木 な つ き	学医(神経科・精神科)		//
8	医歯学総合研究科	助教	馬 場 直 子	学医(皮膚科)		
9	鹿児島大学病院	講師	窪 田 佳 代 子	学医(心臓血管内科)		//
10	鹿児島大学病院	講師	佐 々 木 健	学医(消化器外科)		//
11	医歯学総合研究科	教授	玉 木 直 文	学医(口腔保健科)		
12	法 文 学 部	准教授	平 田 祐 太 朗	カウンセラー		規則第2条第1項第4号
13	教 育 学 部	教授	假 屋 国 昭 彦	カウンセラー		//
14	法 文 学 部	准教授	平 田 祐 太 朗	学 部 等 選 出 委 員	R06.4.1~R08.3.31	規則第2条第1項第5号
15	教 育 学 部	教授	前 田 雅 人	//		//
16	理 学 部	准教授	加 藤 太 一 郎	//		//
17	医 学 部	教授	山 下 亜 矢 子	//		//
18	歯 学 部	講師	玉 木 直 文	//		//
19	工 学 部	准教授	齋 田 倫 範	//		//
20	農 学 部	准教授	大 久 津 昌 治	//		//
21	水 産 学 部	教授	内 匠 正 太	//		//
22	共 同 獣 医 学 部	准教授	乙 丸 孝 之 介	//		//
23	理 工 学 研 究 科	准教授	齋 田 倫 範	//		//
24	医歯学総合研究科	教授	中 村 雅 之	//		//
25	学 生 部	部長	澤 田 佳 代	学 生 部 長	職指定	規則第2条第1項第6号
26	情報医療統括センター	准教授	古 屋 保	委員会が必要と認めた委員	R06.4.1~R08.3.31	規則第2条第1項第7号

あ と が き

この度ご縁があり、2024 年 7 月 1 日より保健管理センターに着任致しました、小牧と申します。これまでは鹿児島大学病院及び関連病院にて消化器内科医師として勤務しておりました。御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

現在、2023 年 5 月に新型コロナウイルス感染症（Coronavirus disease 2019; COVID-19）が五類感染症へと移行してから約 2 年経過しようとしているところであり、我々の生活スタイルもコロナ渦前の日常をようやく取り戻しつつあります。振り返ると、2019 年に中国・武漢市で発生し、あっという間に全世界に広まった COVID-19 に対して、この鹿児島大学キャンパスにおいても対峙せねばなりませんでした。当センターでは大学本部や各部署、行政や保健所などとも連携し、力を尽くしたわけですが、その際に「感染対策」を皆が身をもって学び、考えるきっかけになったのではないのでしょうか。業務においては、本学における大学学生及び職員の感染症情報をフォームに入力することで、常時キャンパス全体の感染症発生状況を把握できるようになりました。また、COVID-19 パンデミック下において学会や会合を Web 上で行う機会が圧倒的に増え、現在に至っています。こういったことはとても大事なことです。コロナ渦を経験しなければいずれも行っていなかったことかもしれません。私達はただコロナ渦前の日常に戻ったのではなく、物事を経験することで学び、着実に進化しているのだと感じております。

当センターでは学生・職員の診察・応急処置や、学内での気分不良者発生時の往診をこれまで同様、積極的に行っております。そして、心身のサポートを必要とする学生・職員の皆様をお力添えできればと考えております。本号の発行についてのご協力を含め、日頃より大変お世話になっております関係教職員の皆様方に心より御礼申し上げます。

最後になりますが、当センターは 2024 年 4 月より川池陽一教授をはじめとする新体制となり、2 年目になります。未来を担う学生たちが自立した社会人になれるように、またそれを支える職員が安心して働けるよう、一丸となって尽力していく所存です。今後とも引き続き皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

小牧 祐雅(記)

鹿児島大学保健管理センター年報 第 46 号

令和 7 年（2025 年）3 月 31 日発行

発行 鹿児島大学保健管理センター

〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目 21 番 24 号

電話 (099) 285-7385